

なぜ自転車は左側通行がよいのか

歩道が片側にしかない場合以外は必ず左側を走ろう

茨城県水戸教育事務所によると、

自転車の右側通行が事故の要因の一つになっているそうです。

その理由を下の図で説明します。

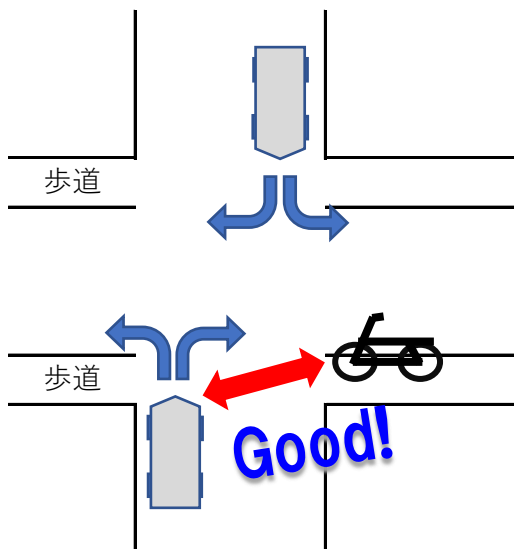
みなさん、左側通行を守ってください。

[交通ルールの確認]

- ・ 自転車は車道の左側を走行する。
- ・ 安全のため歩道を走行する場合は、歩行者に十分注意して車道寄りを走行する。
- ・ 車道の両側に歩道がある場合は、左側の歩道を走行する。
(信号や横断歩道がある場所で、早めに左側に渡るようにする。)

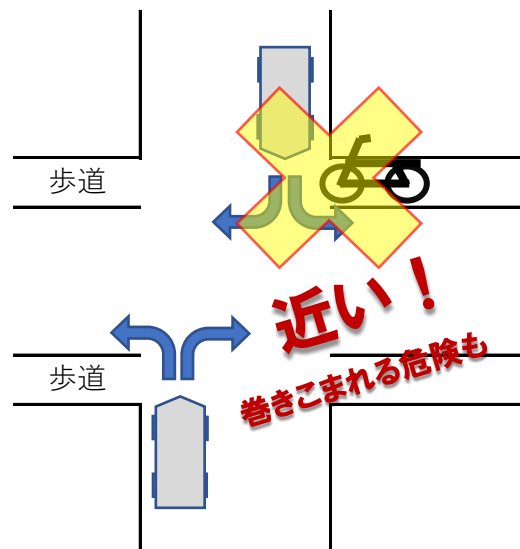
右側通行が危険な理由

○ 左側通行



安全 車と自転車の両方が左側通行だと、わき道から出てくる車と自転車の距離がある。

× 右側通行



危険! 自転車が右側通行だと、わき道から出てくる車との距離が近い。車が左折する場合は特に危険。

塀（へい）などの障害物があって、出てくる車が見えないと特に危険です。歩道を走行しているときも、常に「車が出てくるかもしれない」と思いながら自転車に乗りましょう。